

EPSON

スリッププリンター
TM-U590-2xx シリーズ
ユーザーズマニュアル

M10000601

©Seiko Epson Corporation 2025–2026

ご使用の前に

ご使用の際は、必ず本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全にお使いいただくために

記号の意味

本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の記号が使われています。

その意味は次の通りです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告：

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を起こす可能性が想定される内容を示しています。

参考：

製品の性能を維持するための必要な制限事項、および本製品の取り扱いについて有効な情報を示しています。

取り扱い上の注意

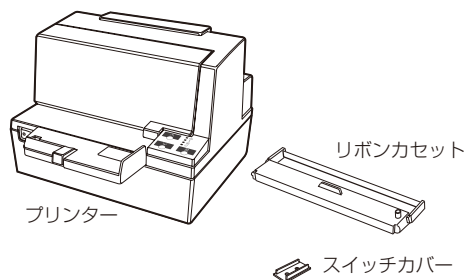
- 用紙は指定紙を使用してください。
- プリンターの汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- プリンターを輸送するときまたは長時間プリンターを使用しないときは、輸送用ダンパーを取り付けてください。

製造銘板の貼り付け位置

銘板は製品の底面に貼り付けられています。

開梱

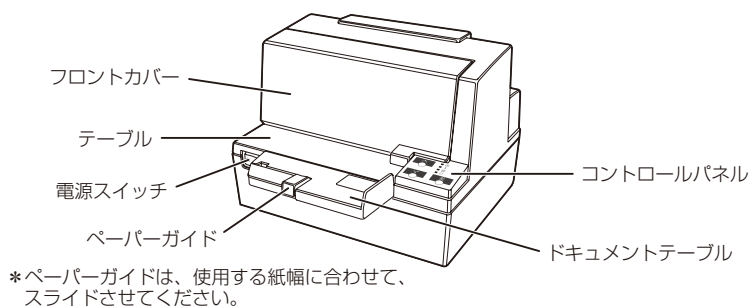
下記の同梱品は、標準仕様のものを示しています。



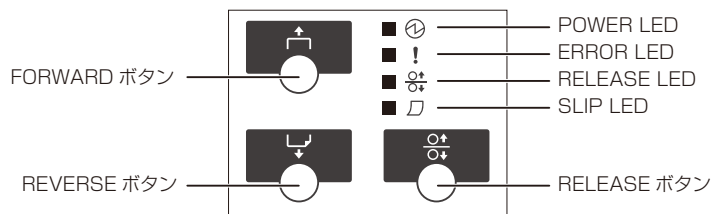
参考:

プリンターを持ち上げるときは、プリンター底を持ってください。

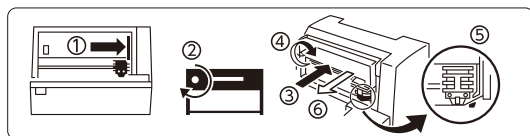
各部の名称



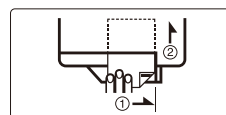
コントロールパネル



ラベル



カセットリボン設置ラベル
フロントカバー内



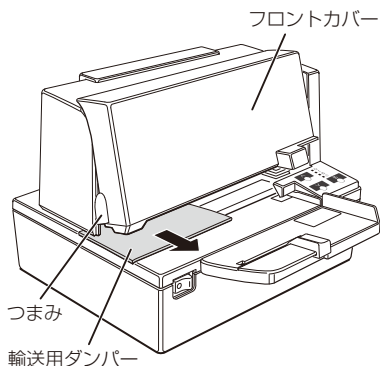
スリッラベル
ドキュメントテーブル上

輸送用ダンパーの取り外し

輸送用ダンパーは、プリンターを使用する前に取り外してください。

取り外し

1. フロントカバーのつまみを引き上げてカバーを開けてください。
2. ダンパーを取り外してください。
3. 他の梱包品と一緒に保管し、プリンターの輸送時に使用してください。

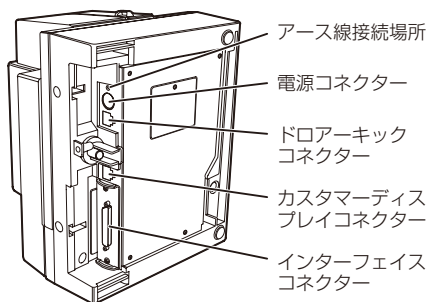


ケーブル、アース線、ACアダプターの接続

4つのケーブルを接続するコネクターパネルとアース線の接続場所 (FG と表示されています) は、プリンター底にあります。

参考:

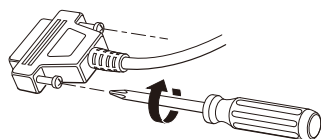
- 接続の前にプリンター、コンピューターなど、接続する全ての機器の電源がオフであることを確認してください。
- ドロアーキックコネクター、カスタマーディスプレイコネクター付近に、注意ラベルが貼られています。
- 取り付けられているインターフェイスの形状によって、イラストと異なる場合があります。



インターフェースケーブルの接続

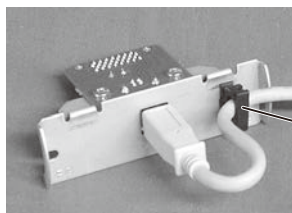
プリンターの仕様に合ったインターフェースケーブルをご用意ください。
以下の手順に従ってインターフェースケーブルのコネクターを接続してください。

1. ケーブルのコネクターをプリンターのインターフェイスコネクターに接続します。
2. シリアルインターフェースケーブルの場合は、ケーブルコネクターをネジで締め付けます。
3. ケーブルのもう片方のコネクターをコンピューターに接続します。



USB ケーブルの場合は、ワイヤーサドルを図の位置に取り付け、抜け防止のためにワイヤーサドルにケーブルを引っ掛けてください。

モデルによっては、すでにワイヤーサドルが取り付けられている場合があります。



ワイヤーサドル

ドロアーキックケーブルの接続

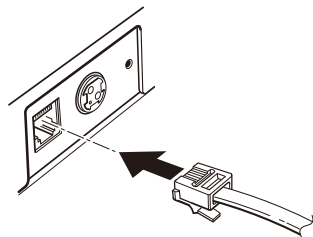
⚠警告:

プリンターの仕様にあったドロアーをご用意ください。
仕様に合わないものを使用すると、ドロアー内部のドロアーキックソレノイドなどが焼損し、火災のおそれがあります。また、同時にプリンターの故障の原因にもなります。

⚠注意:

- ❑ 電話回線をドロアーキックコネクターに接続しないでください。
電話回線およびプリンターの故障の原因となります。
- ❑ ドロアーキックケーブルを、カスタマーディスプレイコネクターに接続しないでください。

- ドロアーキックケーブルのコネクターをプリンターに接続します。



カスタマーディスプレイケーブルの接続

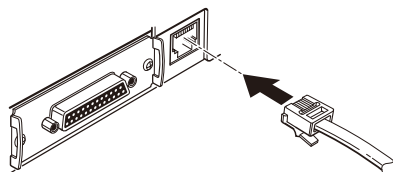
⚠注意:

電話回線をカスタマーディスプレイのコネクターに接続しないでください。
電話回線およびプリンターの故障の原因となります。

- カスタマーディスプレイケーブルのコネクターをプリンターに接続します。

📎参考:

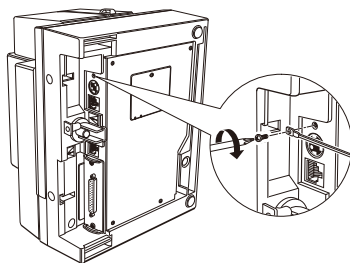
カスタマーディスプレイは、シリアルインターフェイスまたは USB インターフェイスモデルでのみ使用できます。



アース線の接続

お客様のシステムに合った長さのアース線をご用意ください。

- アース線をプリンター底の FG と示された場所に備え付けのネジで締め付けます。



ACアダプターの接続

⚠警告:

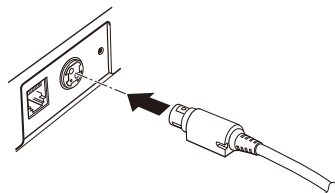
AC アダプターには、オプションのセイコーエプソン製電源 PS-180 または PS-190 をご使用ください。他の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。

⚠注意:

- AC アダプターの DC ケーブルコネクターの取り付け、および取り外しは、必ず AC アダプターの電源プラグがコンセントから外れた状態で行なってください。
コンセントに差し込んだままで作業をすると、AC アダプターおよびプリンターが壊れる可能性があります。
- ご使用になる AC アダプターの定格が家庭用電源コンセントからの電源と異なる場合は、電源プラグをコンセントに差し込まずに、販売店にお問い合わせください。
万一差し込んだ場合、AC アダプターおよびプリンターが壊れる可能性があります。

接続

1. AC アダプターの電源プラグがコンセントから外れていることを確認します。
2. AC アダプターの DC ケーブルコネク터를プリンターに接続します。このときコネクターの平面の方を下に向けてください。
3. AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。



取り外し

1. プリンターの電源を切ります。
2. AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き取ります。
3. コネクター部を持ちながら、DC ケーブルコネクターを引き抜きます。

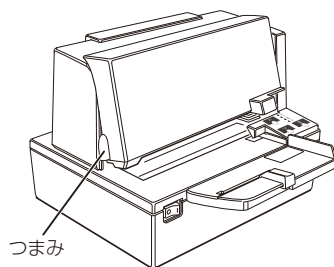
リボンカセットの取り付け・取り外し

参考：

リボンカセットは、セイコーエプソン製 ERC-31 をご使用ください。

取り付け

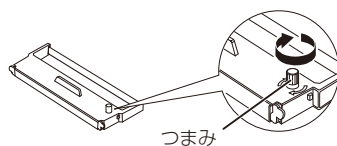
1. ホストから印字命令が来ていないことを確認し、電源を入れてからフロントカバーの左側のつまみを引き上げ、カバーを開きます。



2. リボンカセットのつまみを2～3回まわして、リボンのたるみをとります。

参考：

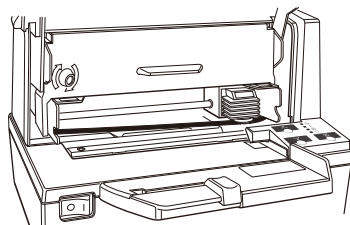
リボンカセットのつまみは、矢印の反対方向には回さないでください。故障の原因となります。



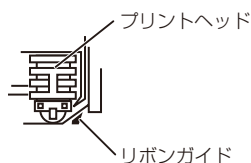
3. プリントヘッドが右端の位置にあることを確認し、リボンカセットをプリンターにセットします。

参考：

リボンがプリントヘッドの下にあることを確認してください（リボンが、リボンガイドの上を通るようにしてください）。また、リボンに折れや、しわがある場合は、もう一度入れ直してください。



4. もう一度リボンカセットのつまみを2～3回まわして、リボンのたるみを取ります。



5. フロントカバーを元に戻します。

電源スイッチカバーの取り付け

電源スイッチカバーは、必ず取り付ける必要はありません。電源スイッチカバーを取り付けることによって、誤って電源スイッチを操作してしまうことを防ぐことができます。

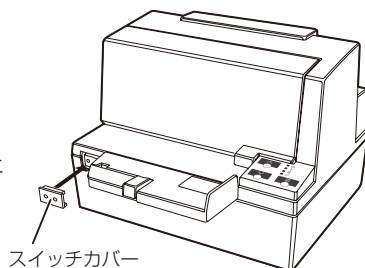
⚠警告:

電源スイッチカバーを取り付けた状態でプリンターに何らかの異常が生じたときは、すみやかに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の可能性があります。

電源スイッチカバーを図の向きに持ち、「カチ」という音がするまで押し込みます。

取り外しの際は、先の細いものを使って取り外します。

電源スイッチカバーにある穴に先の細いものを差し込むことによって、電源を入れたり切ったりできます。



セルフテスト（プリンターの動作確認テスト）の行い方

セルフテストの機能を使ってプリンターの動作を確認できます。必ず行う必要はありませんが、プリンターが正しく動作するか確認するため、一度は実行することをお勧めします。

セルフテストにより、以下を確認できます。

- 制御回路の機能
- プリンターメカニズムの機能
- 印字品質
- 制御 ROM バージョン

セルフテスト

1. フロントカバーが正しく閉じられているか、電源がオフになっているかを確認してください。
2. REVERSE ボタンを押しながら、電源を入れます。SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を挿入してください。

🔧参考:

このとき、セルフテストはプリンターの設定状態を印字します。

3. 再びスリップ紙を挿入すると、セルフテストはプリンターの内蔵フォントを使って印字テストを始めます。

🔧参考:

印字テスト一時停止させたい場合は REVERSE ボタンを押します。一時停止を解除するには、もう一度 REVERSE ボタンを押します。

4. セルフテストは自動的に終了します。
5. ***completed*** と印字されるまでスリップ紙を挿入し続けます。セルフテスト終了後、プリンターは、コンピューターからの印字を行うことができます。

プリンターの操作

電源スイッチ

プリンターの電源を入れたり切ったりします。

操作パネル

ボタン



FORWARD ボタン

紙送りをします。1 回押すごとに 1 行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。



REVERSE ボタン

逆方向紙送りをします。1 回押すごとに 1 行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。

REVERSE ボタンを押しながら電源を入れると、セルフテストを実行できます。



RELEASE ボタン

スリップ紙を解除します。

インジケーター



POWER LED (緑)

プリンターの電源がオンのとき、点灯します。



ERROR LED (赤)

プリンターが印字できない状態のとき、点灯または点滅します。

次の場合に点灯します。

オフライン (FORWARD ボタン、REVERSE ボタンによる紙送り中およびセルフテスト実行中を除きます) のとき。

次の場合に点滅します。

スリップ紙が紙詰まりを起こしているとき。

この場合は、11 ページの「紙詰まり」を参照してください。

上記以外の場合、一度プリンターの電源を切り、しばらくしてから再び電源を入れてみてください。それでも点滅している場合は、販売店またはサービスセンターにご相談ください。



RELEASE LED (緑)

スリップ紙を挿入できる状態のとき、点灯します。

セルフテスト継続待ちのとき、点滅します。



SLIP LED (緑)

電源がオンのとき、以下の場合を除いて点灯します。

スリップ挿入待ち、スリップ除去待ちのとき、点滅します。

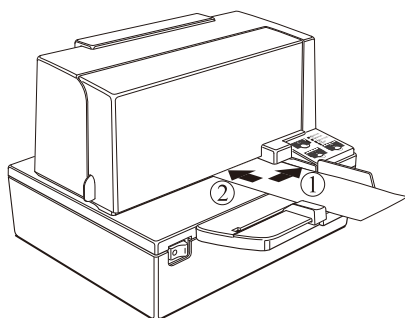
排出動作中は消灯します。

スリップ紙のセット方法

参考：

- スリップ紙はプリンターの仕様に合ったものをご使用ください。
- スリップ紙は折れ、しわ、曲がりのないものをご使用ください。

1. コンピューターからプリンターへ、スリップ紙印字のための命令を送ります。
2. SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を①紙挿入口の右端に合わせながら、②用紙先端がストッパーに突き当たるまで差し込んでください。
3. スリップ用紙を検出すると、SLIP LED が点滅から点灯に変わり、スリップ紙が自動的に引き込まれ、印字が行われます。



参考：

- 用紙検出後、用紙先端位置の検出のため、用紙が前後に動きます。
 - 用紙セット位置が規定位置にない場合、用紙先端位置検出のために時間がかかる場合があります。
4. 印字後、SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を取り除きます。

紙詰まり

⚠️注意：

プリントヘッドに触れないでください。

長時間の印字後は、プリントヘッドが高温になっており、やけど等の危険があります。プリントヘッドが低温になってから作業を始めてください。

- 電源を切り、フロントカバーを開けて紙詰まりを取り除いてください。

ディップスイッチの確認・設定

ディップスイッチの機能は、プリンターのインターフェイスによって異なります。
下表をもとに設定変更が必要か確認してください。

シリアルインターフェイス

ディップスイッチ1

SW	機能	ON	OFF	出荷時設定
1-1	データ受信エラー	無視	'?' を印字	OFF
1-2	受信バッファ容量	69 バイト	4 KB	OFF
1-3	ハンドシェイク	XON/XOFF	DTR/DSR	OFF
1-4	ビット長	7 ビット	8 ビット	OFF
1-5	パリティチェック	あり	なし	OFF
1-6	パリティ選択	偶数	奇数	OFF
1-7	通信速度の選択	(下に示す「通信速度の選択」を参照)		ON
1-8				OFF

通信速度の選択

通信速度 [bps]	SW1-7	SW1-8
2400	ON	ON
4800	OFF	ON
9600	ON	OFF
19200	OFF	OFF

ディップスイッチ2

SW	機能	ON	OFF	出荷時設定
2-1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	受信バッファフル	オフラインまたは受信バッファフル	OFF
2-2	カスタマーディスプレイ (DM-D) の接続	接続	未接続	OFF
2-3	未定義	—		OFF
2-4				OFF
2-5	予約	OFF 固定 (設定を変えないこと)		OFF
2-6				OFF
2-7	# 6 ピンリセット信号	使用する	使用しない	OFF
2-8	# 25 ピンリセット信号	使用する	使用しない	OFF

パラレルインターフェイス

ディップスイッチ1

SW	機能	ON	OFF	出荷時設定
1-1	自動改行	常時有効	常時無効	OFF
1-2	受信バッファ容量	69 バイト	4 KB	OFF
1-3	未定義	—		OFF
1-4				OFF
1-5				OFF
1-6				OFF
1-7				OFF
1-8				OFF

ディップスイッチ2

SW	機能	ON	OFF	出荷時設定
2-1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	受信バッファーフル	オフラインまたは 受信バッファーフル	OFF
2-2	予約	OFF 固定 (設定を変えないこと)		OFF
2-3	未定義	—		OFF
2-4				OFF
2-5	予約	OFF 固定 (設定を変えないこと)		OFF
2-6				OFF
2-7				OFF
2-8	# 31 ピンリセット信号	ON 固定 (設定を変えないこと)		ON

USBインターフェイス

ディップスイッチ1

SW	機能	ON	OFF	出荷時設定
1-1	自動改行	常時有効	常時無効	OFF
1-2	受信バッファ容量	69 バイト	4 KB	OFF
1-3	未定義	—		OFF
1-4				OFF
1-5				OFF
1-6				OFF
1-7				OFF
1-8				OFF

ディップスイッチ2

SW	機能	ON	OFF	出荷時設定
2-1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	受信バッファーフル	オフラインまたは 受信バッファーフル	OFF
2-2	カスタマーディスプレイ (DM-D) の接続	接続	未接続	OFF
2-3	予約	OFF 固定 (設定を変えないこと)		OFF
2-4				OFF
2-5				OFF
2-6				OFF
2-7				OFF
2-8	予約	ON 固定 (設定を変えないこと)		ON

設定を変更する場合は、次の手順で行います。

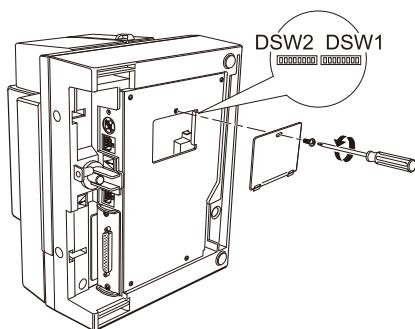
⚠注意：

ディップスイッチの蓋を外すときは、プリンターの電源を切ってください。電源を入れたまま外すと、ショートなどにより、プリンターが故障する可能性があります。

1. プリンターの電源がオフであることを確認します。
2. ネジを外し、プリンター底のディップスイッチの蓋を外します。
3. 先の細いものを使って、ディップスイッチを設定します。
4. ディップスイッチの蓋を取り付け、ネジで固定します。

🔧参考：

新しい設定は、プリンターの電源を入れ直してから有効になります。



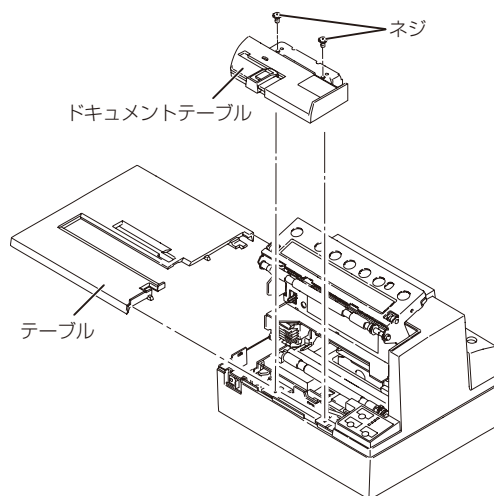
ペーパーガイドの取り外し

紙幅の広い用紙を使用する場合、ペーパーガイドを取り外すことをお勧めします。

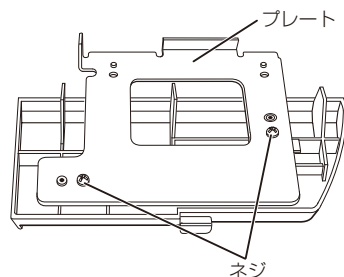
1. プリンターのフロントカバーの左側のつまみを引き上げ、カバーを開きます。
2. テーブルを、左方向にスライドさせ、取り外してください。
3. ネジを外し、ドキュメントテーブルをプリンターから取り外してください。

参考:

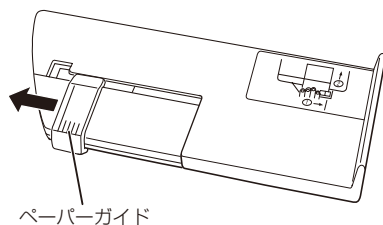
取り外したネジを、プリンター内部に落とさないようにしてください。



4. ドキュメントテーブルの裏側のネジを外し、プレートを取り外します。



5. ペーパーガイドを、イラストのようにスライドさせてから、取り外します。
6. 再びプレートを取り付け、ドキュメントテーブルをプリンターに取り付けてください。



参考:

ペーパーガイドは、大切に保管してください。

製品仕様

印字方式	インパクトドットマトリックス
ヘッドワイヤー配列	9 本縦 1 列、ワイヤーピッチ 0.353 mm {1/72 インチ}
印字方向	双方向最短距離印字
印字桁数	フォント A：66 桁、フォント B：88 桁、漢字フォント：44 桁
文字構成	フォント A：9 × 9、3 ドットスペース（ハーフドット単位） フォント B：7 × 9、2 ドットスペース（ハーフドット単位） 漢字フォント：16 × 16、2 ドットスペース（ハーフドット単位）
文字サイズ（W × H）	フォント A：1.6 × 3.1 mm フォント B：1.3 × 3.1 mm 漢字フォント：2.7 × 2.9 mm
文字種	英数字：95 文字 国際文字：14 セット 拡張グラフィックス：128 文字 × 12 ページ（空白 2 ページを含む） 日本語：JIS (JIS X0208-1990) 第 1 水準、第 2 水準
印字速度	フォント A：233 文字 / 秒 フォント B：311 文字 / 秒 漢字フォント：45 文字 / 秒
行間隔	4.23 mm {1/6 インチ}（コマンドにより 0.176 mm {1/144 インチ} 単位で変更可能）
用紙種類	普通紙、複写カーボン紙、感圧紙
コピー能力と紙厚	普通紙（1 枚紙）：0.09 ～ 0.2 mm 複写カーボン紙：最大 5 枚（オリジナル + 4 枚コピー紙） 台紙：0.06 ～ 0.15 mm コピー紙およびオリジナル紙：0.04 ～ 0.07 mm カーボン紙：約 0.035 mm 複写カーボン紙総厚：0.30 mm 以下（1 ～ 1+3）、0.36 mm 以下（1+4） 感圧紙：最大 5 枚（オリジナル + 4 枚コピー紙） 台紙：0.06 ～ 0.15 mm コピー紙およびオリジナル紙：0.06 ～ 0.075 mm 感圧紙総厚：0.24 mm 以下（1 ～ 1+3）、0.30 mm 以下（1+4）
リボンカセット	ERC-31
インターフェイス	シリアル：RS-232 パラレル：IEEE1284 USB：USB 2.0 Full-speed (12 Mbps)
受信バッファ	4 KB / 69 バイト（ディップスイッチ 1-2 で選択可能）
キャッシュドロアー接続	1 ポート（2 ドライブ）
電源 ¹⁾	+24 VDC ± 10%（オプション電源：PS-180 または PS-190）
消費電流	動作時：平均：1.9 A、ピーク：約 8.0 A 待機時：平均：0.3 A
寿命	プリンターメカニズム：1,200 万行 印字ヘッド：2.0 億字（フォント B で印字した場合）
MTBF	18 万時間
MCBF	2,900 万行
温度・湿度	動作時：5 ～ 45℃、10 ～ 90%RH 保存時：-10 ～ 50℃、10 ～ 90%RH（用紙を除く）
標高	3,000 m 以下
外形寸法（H × W × D）	185 × 252 × 266 mm（ドキュメントテーブルを含む）
質量	約 5 kg

*1：以下の仕様を満たす安全規格取得品を使用してください。
定格出力：24 V/1.9 ～ 10.0 A、最大出力：240 VA 以下

目次

ご使用の前に.....	2
安全にお使いいただくために.....	2
記号の意味.....	2
取り扱い上の注意.....	2
製造銘板の貼り付け位置.....	2
開梱.....	3
各部の名称.....	3
コントロールパネル.....	3
ラベル.....	4
輸送用ダンパーの取り外し.....	4
取り外し.....	4
ケーブル、アース線、AC アダプターの接続.....	4
インターフェースケーブルの接続.....	5
ドロアーキックケーブルの接続.....	5
カスタマーディスプレイケーブルの接続.....	6
アース線の接続.....	6
AC アダプターの接続.....	7
接続.....	7
取り外し.....	7
リボンカセットの取り付け・取り外し.....	8
取り付け.....	8
電源スイッチカバーの取り付け.....	9
セルフテスト（プリンターの動作確認テスト）の行い方.....	9
セルフテスト.....	9
プリンターの操作.....	10
電源スイッチ.....	10
操作パネル.....	10
ボタン.....	10
インジケーター.....	10
スリップ紙のセット方法.....	11
紙詰まり.....	11
ディップスイッチの確認・設定.....	12
シリアルインターフェイス.....	12
ディップスイッチ 1.....	12
ディップスイッチ 2.....	12
パラレルインターフェイス.....	12
ディップスイッチ 1.....	12
ディップスイッチ 2.....	13
USB インターフェイス.....	13
ディップスイッチ 1.....	13
ディップスイッチ 2.....	13
ペーパーガイドの取り外し.....	15
製品仕様.....	16